

私たちのまちの家計簿

平成22年度各会計決算から見る町の財政事情

平成22年度和水町決算

平成22年度の町の決算が9月の町議会で認定されました。平成22年度に町にどれくらいのお金が入ったのか、また、町はどのくらいのお金を使ったのか報告します。

【和水町の財布】

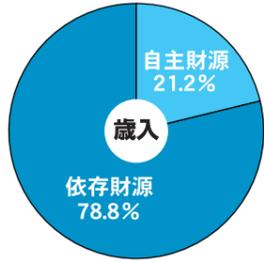
町のお金を出し入れするため、「一般会計」、「特別会計」という財布を用意しています。通常出し入れするお金は「一般会計」という財布、そして「特別会計」という財布は、特定の事業のために使うお金を出し入れるためのものです。「特別会計」という財布は、病院事業や簡易水道事業などの「公営企業会計」、国民健康保険事業や介護保険事業などの「公営企業会計」以外の「特別会計」という12の会計で分かれています。それぞれの目的以外には使わないことになっています。

「一般会計」の財布から出したお金のうち、平成22年度に入ってきたお金(歳入)は74億309万円、そこから使ったお金(歳出)は70億2,401万円でした。差し引き3億7,908万円、そのうち平成23年度へ事業を繰り越して使うお金6,969万円を差し引いた額が3億939万円となり、これが実質の黒字額です。

【歳入の21%が自主財源】

入ってくるお金(歳入)は2つの財源で成り立っています。「自主財源」は、町が自主的に収入できる財源のことで、町税、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入などです。もう一つの「依存財源」は、国や県の基準に基づき交付されたり、割り当てられたりする財源で地方

自主財源と依存財源の割合



町では、新しい年度が始まる前に「当初予算」を組みます。目的ごとに細かく決められた当初予算によって、その年度の支出が行われます。平成22年度の一般会計の歳出、町が使ったお金

交付税、地方譲与税、国庫支出金、県支出金、地方債などです。割合を見てみると、「自主財源」が21.2%、「依存財源」が78.8%となっており、自主財源比率は低く、国、県からの「依存財源」に頼っている状況です。今後も、町税の徴収強化、定住促進などの取組みにより自主財源を増やす努力を続けていきます。

一般会計の財布

項目	金額
入ってきたお金(歳入)	74億 309万円
使ったお金(歳出)	70億 2,401万円
差し引き額	3億 7,908万円
平成22年度に繰越して使うお金	6,969万円
実質収支	3億 939万円

は70億2,401万円、最も多いのが総務費、次に民生費、土木費、衛生費の順となっています。この額を人口で割ると、町民一人当たりに使われたお金は約61万円となります。

財政用語辞典



決算 一般会計年度の歳入歳出予算の執行実績。
歳入 一般会計年度における全ての収入。
歳出 一般会計年度における全ての支出。
自主財源 地方公共団体が自主的に収入できる財源。地方税、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、寄付金、繰入金、繰越金、諸収入。
依存財源 国や県により定められた額を交付されたり、割り当てられたりするもの。国庫支出金、県支出金、地方交付税、地方譲与税など。
基金 特定の目的のために、維持あるいは積み立てられる資金または財産。その目的によって、順次積み立てていくもの、定額を運用していくものなどがあります。
起債(地方債) 施設整備など下水道や学校、道路などのために年度を越えて長期(1年以上)に借り入れるお金を「起債(地方債を起すこと…借金)」という。学校や道路施設などは将来にわたり継続して利用することができると、今の世代と次の世代の税金で建設費用を返済するという形で分担してもらった効果がある。家計に例えると家を建てる際に大きな金額を一度に支払えないため、場合によっては子供と二世帯でローンを組んで長期に返済する行為といえます。

歳出 70億2,401万円 歳入 74億309万円



歳出決算額は前年度と比べて6.0%の増です。財政調整基金などの基金積立12億8,000万円の積み増しにより総務費が増加、高齢化による民生費の増加に加え、国の地域活性化対策により商工費、消防費が増加しています。土木費、公債費、教育費などは減少となりました。

町民一人当たり換算(平成23年3月31日現在 人口11,551人で計算)

町民一人に使われたお金 **608,086円**

町民一人が支払った町税 **77,673円**



基金(貯金)の状況
 和水町の全会計の基金(貯金)の残高は57億8,446万円となっています。町民一人当たり換算(平成23年3月31日現在 人口11,551人で計算)すると一人当たり **500,776円**

基金種別	金額
財政調整基金	17億1,786万円
減債基金	7億5,500万円
公共施設整備基金	18億9,571万円
合併振興基金	2億円
その他の基金	2億6,235万円
土地開発基金(定額運用基金)	1億2,427万円
計	49億5,519万円
国民健康保険事業会計	2億7,100万円
介護保険事業会計	362万円
特別養護老人ホーム事業会計	6億1,855万円
合計	57億8,446万円

起債(借金)の状況
 和水町の全会計の起債(借金)の残高は83億5,227万円となっています。町民一人当たり換算(平成23年3月31日現在 人口11,551人で計算)すると一人当たり **723,077円**

起債種別	金額
過疎対策事業債	26億3,309万円
臨時財政対策債	26億7,069万円
合併特例債	2億8,370万円
その他の起債	10億760万円
計	65億9,508万円
町立病院事業会計	7億1,126万円
簡易水道事業会計	2億1,927万円
下水道事業会計	6億3,506万円
特定地域生活排水処理事業会計	1億9,160万円
合計	83億5,227万円

